

## 女性講談師、男女共同参画を語る

～ 男女共同参画講演会 ～

10月30日(木)、市民会館で『男女共同参画講演会』が開かれました。この講演会は、男女の固定的な意識にとらわれず、自分らしい生き方を考えてもらおうと開かれているもので、この日の講演会には市民約120人が参加しました。

はじめに、公募していた登別市男女共同参画社会のシンボルマークの表彰式が行われ、道内外39点の作品から明るい配色で男女が協力しアーチを支えるデザインが高く評価され、最優秀賞としてシンボルマークに決まった齊藤哲哉さん(小樽市)と優秀賞となった綿谷恵里さん(新川町)に賞状と賞品が渡されました。

続いて行われた創作講談『山下さんちの物語』では、男性社会とされる講談の中で、数少ない女性講談師の一人・宝井琴桜さんが、山下さんという架空の家庭を舞台に、日常の中にある男女差別や職場でのトラブル、夫婦の家事分担の問題点・あり方などについてユーモアを交えながら軽妙に語りました。



市の『男女共同参画社会』のシンボルマーク



## 黒松の盆栽に満足顔

～ 秋のガーデニング講習会 ～

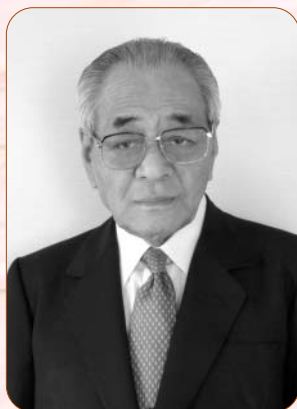
10月22日(水)、クリンクルセンター・市民ギャラリーで『秋のガーデニング講習会』が開かれ、15人の市民が家庭では難しいとされる黒松の盆栽づくりに挑戦しました。講師の小笠原春一さん(株丸勇小笠原緑化)から、「黒松の正面はどちらか分かりますか」との質問に参加者はまず目を白黒。

その後、参加者は丁寧な指導に従い、火山礫などを敷いた鉢に黒松を置き、向きを考えながら針金で向きを固定し、余分な葉や枝を落として、盆栽を完成させていました。

## 受章おめでとうございます

～ 秋の叙勲 ～

ずい ほう そろ ころ しょう  
瑞宝双光章



し ぶ や だ い ち ろ う  
渋谷大一郎 氏(76歳)  
鷺別町1丁目12-1

昭和31年から47年にわたり、民生・児童委員を務め、生活相談や児童の健全育成など地域福祉の向上に尽力されています。

ずい ほう そろ ころ しょう  
瑞宝双光章



は ん だ ひ さ お  
半田 久男 氏(70歳)  
若草町2丁目6-10

昭和47年から31年余にわたり、保護司として非行少年や罪を犯した人の更生や犯罪の予防に尽力されています。